

株式会社リナイス

北海道札幌市

需要獲得
ものづくり

北海道の未利用資源活用で海外市場に進出 地元の雇用創出、震災復興にも貢献

同社は北海道沿岸で漁獲される秋サケの未利用部位である「頭部に存在する鼻軟骨」から健康食品や化粧品用途の機能性素材プロテオグリカンを製造販売する原料メーカーである。秋サケ頭部の調達から最終工程まですべてを自社管理で行い、独自のノウハウ技術と特許技術の融合により、プロテオグリカンの持つ機能性において差別化を図ることが可能で、現在流通しているプロテオグリカン関連商品への採用数量として国内トップシェアを有する。2020年2月には日本健康・栄養食品協会が認証する原料GMPを取得、さらにユダヤ教の品質認証制度コーシャ、イスラム教認証制度ハラルを取得し、海外展開を本格化している。

所在地 北海道札幌市北区北21条西12丁目2
北大ビジネス・スプリング309
電話/FAX 011-374-7118/011-351-5008
URL <https://www.linise.co.jp/>
代表者 代表取締役 中野 英春・鳴海 正樹

設立 2011年
資本金 2,440万円
従業員数 27人



北海道産秋サケ頭部に存在する未利用部位「鼻軟骨」から機能性原料プロテオグリカンを製造

同社は北海道沿岸で漁獲される秋サケ頭部にある未利用部位「鼻軟骨」からアンチエイジング訴求の機能性原料プロテオグリカンを抽出製造する原料メーカー。サケ頭部から鼻軟骨摘出する工程から抽出・精製・濃縮・乾燥まですべてのプロセスを同社で確立。高度なプロセス開発により新たな機能性を有する非変性・高分子プロテオグリカンの開発に成功し、特許登録（特許第5847975号）。さらにこの特許を活用した事業化が評価され、2020年度北海道地方発明表彰「北海道経済産業局長」を受賞した。



「北海道経済産業局長賞」受賞製品

ユダヤ教「コーシャ認証」・イスラム教「ハラル認証」取得

予防医療や医療費抑制の手段となるサプリメントの需要は国内外問わず維持。そのサプリメントに活用される機能性素材として海洋性由来でなおかつ科学的エビデンスを有するプロテオグリカンのニーズは当面拡大傾向。同社は、数年前から北米市場への参入を目指し、米国市場では必須と言われるGMP（医薬品の製造管理および品質管理に関する基準）工場認定を取得した。その後、ユダヤ教徒が食べてもよいとされる食品として「コーシャ認証」とイスラム教徒が食べてもよいとされる「ハラール認証」を取得した。昨年、米国での展示会に出展、取扱会社が決定するなど、米国進出の準備が整った。



世界中の需要に対応

北海道内地方の町に二つの工場を構え、地元の雇用創出へ貢献

同社は北海道出身の中野英春と鳴海正樹が創業した。2人の思いは北海道の未利用資源の有効活用により、北海道産業の活力となること。現在、同社は2つの工場を有し、それぞれ太平洋側の人口5,000人の長万部町、日本海側の14,000人の岩内町に設立し、地元から積極的に社員を雇用、雇用創出に貢献している。また2018年9月6日未明に北海道胆振東部地震が発生した際には、地元水産業の経済支援として、当該地域の漁協から積極的に原料（サケの頭部）を購入している。



地元の雇用創出に貢献

需要獲得

ものづくり